

2021年1月6日

2021年 社長年頭挨拶要旨(社員向け)

社長 川井 文義

2021年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々にお見舞い申し上げますとともに、不幸にもお亡くなりになられた方々に対しましては、心より哀悼の意を表します。コロナ収束の見通しが立たない中ではありますが、この苦境を乗り越えながら、本年も、成長を持続できる年となるよう、皆さんとともに頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

コロナの流行が更に拡大・長期化しますと、厳しくかつ難しい状況が続くことも考えられます。そのような中でも、我々は受注、生産、開発の事業活動を決して停滞させないようにしなくてはなりません。そのためには、ムダ・ムリ・ムラの削減や働き方や仕事の仕組みの見直し等、体質強化につながる具体的な活動の継続が必要です。体質強化により競争力を高めることができれば、お客様の信頼を勝ち取ることができ、「22Vision」達成はもとより、我々がめざす『ワイヤーハーネスをコアとするメガサプライヤー』となることができます。

そこで、本年は以下の3点について、皆さんに一丸となって取り組んでいただくことをお願いします。

1点めは、「従業員の安全確保」を最優先に、「受注、増産、改善、研究開発」等、『22Vision』の達成に向けた事業活動の着実な実践』をお願いします。先の状況が未だ見通せないコロナ禍であっても、コロナというピンチを、逆に今後の発展のための変革の機会ととらえて下さい。製造拠点においては、「自立化」実現のために、人材育成に注力し、マザー部門においてはそれらの活動を支援すべく、「標準化」と「リモート支援」の強化をお願いします。また、環境車や自動運転といったCASE^{*1}の潮流がますます加速している中、住友電工やオートネットワーク研究所とも一体となり、住友の技術をもって「CASEへの対応」を着実に進めていただくようお願いいたします。

2点めは、『会社品格の維持・向上』のための取組みの強化をお願いします。具体的に、1つは、「安全を最優先とするSEQCDD^{*2}強化」です。生産が増えると被災者数は増加する傾向にあり、「3S、3定、3ルール」^{*3}、等、安全ルールの絶対遵守をお願いします。もう1つは、「コンプライアンス遵守」です。社会から批判されるような言動により品格を下げることがないよう、個人としても組織としても「やましいことはないか」「正々堂々としているか」と自制や牽制がされる風土の醸成をお願いします。

3点めは、住友ハーネス事業の行動原則である『「SWS WAY」の実践と強化』をお願いします。昨年10月、仕事に対する取組み姿勢や考え方を「プロフェッショナル」、「チームワーク」、「チャレンジ」3つの大項目でシンプルにまとめ、「新SWS WAY」として、グローバルでも共通の理解と共感をより一層進められる内容としました。本年は、グローバルに

展開し、共感の輪を広げる年であり、全社において、「新 SWS WAY」の行動原則を強く意識・実践し、本年の具体的目標達成に、力強く取り組んでください。

最後に、我々が事業を継続する上で必要な、普遍的なお願いを申し上げます。まずは、「健康管理」です。会社は、健康経営の観点から、従業員の健康保持増進を積極的にサポートしていますが、皆さんご自身も、更に健康意識を高めていただくようお願いします。また、「リスク管理」の徹底をお願いします。自然災害に限らず、火災や感染症も含め、あらゆる事態を想定し、有事の際には全員の安全の確保と事業継続が可能なよう、在宅勤務やリモートワークの環境整備も含め、事前の準備と対策を徹底いただくようお願いします。

以上の取り組みこそが、予てからの私の抱負である『世界で一番働きがいのある、活力ある会社』、及び『全自動車会社から住友電装がないと困る状態』を実現し、ひいては社会からの評価につながるものと信じています。

以上

—ご参考—

*1 CASE

: Connected (つながる)、Autonomous (自動運転)、Shared (シェアリング)、Electric (電動化) の頭文字をとったもので、これらの新しい領域で自動車の技術革新が進んでいる。

*2 SEQDD

: S(Safety : 安全)、E(Environment : 環境)、Q(Quality : 品質)、C(Cost : 価格)、D(Delivery : 物流、納期)、D(Development : 開発)

*3 3S、3定、3ルール

: 3S (整理、整頓、清掃)、3定 (定位置、定品、定量)、3ルール(安全意識の低下や教育不足を補う観点で定めたルール)